

2月18日(火) 株高の背景

2014年 2月19日
日経電子版

【編集部から】

18日の日経平均株価はいったい何事かというくらいに一時は500円も上昇し、そちらに目が向いてしまって、なにが起きたのか分かりにくくなってしまった感じがあります。整理すると、だいたいこういうことのようにです。

マネタリーベースを年60兆～70兆円増やすという日銀の「量的・質的緩和」は、手段として

- (1)長期国債など資産の買い入れと
- (2)貸出支援基金があつて、

18日は(2)の拡充を決めた。そのなかで「規模を2倍」という印象的な言葉を使ったので、市場が大きく反応した。

ただ、これは年60兆～70兆円という枠の中の話で、市場が期待している「追加緩和」と呼べるかどうか。

支援基金の拡充効果自体についても、市場参加者は懐疑的にみている。市場の関心はあくまでも、7月会合での追加緩和。

以上です。

バークレイズ証券のレポートなどを参考にしました。これで二つ三つ記事を読むと、わかりやすいかもしれません。(マーケット編集長 深田武志)

